

第1回

令和4年10月23日(日)

学生のための教師未来塾



未来の教師たちが学び合いました！

第1回「学生のための教師未来塾」が10月23日に行われました。今年度より、定員100名、全5回の研修となりました。休日にもかかわらず90名のみなさんが、県内外から集まり、講話はもちろんグループ演習等にも積極的に取り組み、充実した研修となりました。それでは…実際に受講した、みなさんの感想を紹介します！

1 講話・演習「教員の仕事について」



教員になったら、どのようなことがしたいのか具体的に考えました。今後、教員になりたいという気持ちの向上につながりました。

導入でアイスブレイク、グループ活動を取り入れる大切さをあらためて感じたので、授業づくりに生かしていこうと思います。

自身が教員になった際、現場で生かせるように、あらためて学んだことを振り返り、自分なりの答えを見つけ、同じ教員を目指す仲間と高め合っていきたいと思います。

2 講話「子供たちの『かけがえのない命』を守るために～『学校安全の手引』の活用について～」

安全教育の知識や教師として大切な価値観を学ぶことができたので、さらに、それらを深めていきたいと感じました。

児童・生徒の安全のために、学校安全の活動や内容を3つずつ覚え、教員になったときに、生かしていきたいです。

学校安全の講話では、実際に教員になった際、必要な内容を知ることができました。今日学んだことを活用できるよう、資料等に目を通しておきたいと思いました。



3 講話・演習「今、教師に求められているもの」



自分になりたい教師像と国や県、地域や家庭、生徒が求めている教師像を学んだため、それに向かって努力をしていきたいです。

グループ等で意見を共有することで、自分にはない考えを受け入れることができました。

「なりたい教員像」と「求められる教員像」について考え、そのギャップを埋め、求められる人材になるためにどのように行動すればよいか、日々考えたいと思います。